



●色彩教材研究会の皆様へ

こんにちは、本年度主査をさせていただきます吉澤陽介（木更津高専）でございます。

過去2年間は三本主査の強力なリーダーシップにより、有意義な研究会活動になったと思います。三本主査，2年間ありがとうございました。

当方、今年度の主査を担当させていただきますが、すでにお知らせしている通り、ひとまず任期を1年にさせていただきます。

また、4月から6月までが校務とプロジェクトの関係上、なかなか手が空かない状態となっております。

よって、この1年は主査の名前をお借りして「司令塔」として、幹事・会員の皆様に動いていただこうと考えております。

場合によりましては、幹事に主査代行をお願いすることになろうかと思えます。

現時点での予定は、幹事候補者に確認を取り、新幹事会を組織し、方針・スケジュールのたたき台を作り、5月中に幹事会（zoom）を開催し、顔合わせ、年間行事のプレスト、11月開催予定の研究会集会について議論いたします。議論の結果としてスケジュールが決まり、担当者を決めてイベントを行います。

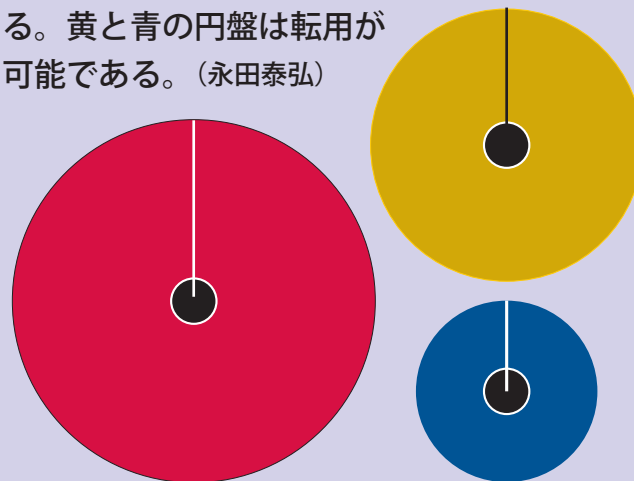
（吉澤陽介）

●回転混色 パーソナルカラー説明用

パーソナルカラーは、ある色をイエローベースとブルーベースに分けて扱うことから始まる。中間のレッドに黄味を加えた色をイエローベース、青味を加えた色をブルーベースと定義する。

3色の色を実感するために三つの円盤の回転混色を用いる。中心まで切込みを入れて、レッドの円盤に、Y-baseとB-baseの円盤を重ねて回転混色を行う。イエローとブルーの露出面積は適宜調節する。この回転混色を用いてパーソナルカラーの説明をすると、理解しやすいと思われる。左の円盤は各色準備。

回転混色した場合は、外側に試料色の中間のレッドが現れ、中央にイエローベースのレッド、内側にブルーベースのレッドが現れる。黄と青の円盤は転用が可能である。（永田泰弘）



●色名雑感の原稿を募集します

日常生活の会話の中で「色名」を使うことがあります。何種類ぐらいの色名を記憶して、会話をすれば、通常の会話は成り立つのだろうかと考え、私は昔から30種類ぐらいの色名を使いこなすことができると、それほど困らないで、会話は成り立ち、日常生活に支障を生じることもないのではないかと考えていました。30案を提案してください。

「色名帳」と呼ばれる本を数冊、執筆していますが、編纂に参加した「JIS規格・物体色の色名」では、和色名147色とカタカナ洋色名122色を合わせて「日本の269色」として出版しています。

皆さまが、「色名」に対して抱いておられる様々なお考えや、疑問を480字以内の文章にまとめて、投稿していただけますか？

これだけの色名があれば、会話は成立つということから、こんな珍しい色名を使うのも楽しいとか、この歌にはこんな色名が、この小説にはこれだけの色名が、使われていたというレポートなども歓迎します。

最近流行り始めた新しい色名なども紹介してください。

ワードの原稿をメールで永田泰弘宛にお送りください。原稿料はありません。（永田泰弘）